

日本漢方協会通信-1

26年 12月

第17回国際東洋医学会学術大

中村成代記

第17回国際東洋医学会学術大会に参加したのでここに報告する。

国際東洋医学会は今年で創立40年を迎え、現在の会長は細野診療所の中田敬吾先生である。グローバル化が叫ばれる中、日本からの発表は、特別講演、基調講演の他、オーラル・ポスター発表など多数あり、日本からの参加者は150名にも及んだ。日本漢方協会からも講師団長である秋葉哲生先生をはじめ、講師団の並木隆雄・新井信・長坂和彦・室賀一宏・頼建守各先生、事務局、会員など多数参加した。

【月日】2014年11月1日～11月3日

【会場】台北医院国際会議中心(台北市)

【特別講演】

●「日本漢方の現況と今後の発展への期待」

国際東洋医学会会長 細野診療所 中田敬吾
日本の漢方は一元制医療制度のもとで、西洋医学を修了した医師が漢方医学を勉強研究して臨床に応用している。

2010年日本における15th ICOM以来「五苓散シンポジウム」「芍薬甘草シンポジウム」「麻黄湯シンポジウム」が開催され、重要処方データを集積してきた。故細野史郎先生は、「漢方医学の発展のためには、西洋医学の教育を受けた医師なら誰でも使えるよう、薬理作用を明らかにしなければならない」と訴えておられたが、その方向に進んできている。薬剤師・鍼灸師と強調して道を切り開いて行くことを期待する。

【基調講演】

●「食品由来フィトケミカルによる生活習慣病の予防」 日本大学生物資源科学部 関泰一郎
ガーリックは古来より食用に供されてきたが、強壯作用、抗菌作用、抗血栓作用など顕著な生理活性を示す。ガーリック由来のメチルアルシルスルフィドは強力な抗血小板作用や抗血栓作用を示し、その分子標的を明らかにした。一方、ガーリックは1990年代に米国がん研究所が実施したデザイナーズフードプログラムにより、最も抗がん作用が期待される食品として評価された。作用機序を追究したところ、ジアリルトリスルフィドがアポトーシスを誘導することなどが分かった。

●「日本のケースから伝統医学グローバル化への展望」クラシエ製薬㈱ 漢方研究所 範本文哲
漢方医学は日本の国民健康保険に統合されており、製造管理・品質管理にいち早くGMPが導入されてきた。また特筆すべきはEBM委員会が設立され、日本語版のほか韓国語・英語の「漢方治療エビデンスレポート」を公表したことである

●「女性医療の漢方治療について」

東京女子医科大学東洋医学研究所
木村容子

女性医療の漢方的治療の経験や、治療効果と評価方法と併せて報告。

1)加味逍遙散の月経前症候群に対する効果

加味逍遙散により、血管年齢も改善する

2)女性の訴えの多い冷え症の漢方治療

当帰四逆加呉茱萸生姜湯

1)母娘患者の異病同治

【招待講演】

「中医学的診断の概念と日本漢方的診断を含めた診断のシステムの特徴」

総合内科熊本赤十字病院 加島雅之

「方剤の適応を多角的に提示しうるコーディングシステムの設計」

琉球大学医学部付属病院 廣瀬康行 他

【JAPANESE SESSION 「臨床」】

座長 金沢医科大学腫瘍内科学 元雄良

東北大学大学院医学系研究科

高山真

●「舌痛症・咽喉頭異常感症に滋陰至宝湯が有効であった3例」

金沢大学付属病院耳鼻咽喉科 小川恵子

●「大柴胡湯合橘皮枳実生姜湯が有効だった好酸球性肺炎の一例」

九州大学大学院医学研究院 貝沼茂三郎

●「がん患者の諸症状に対する漢方薬によるマネジメント」

千葉大学大学院医学研究院和漢診療学 岡本英輝

●「泌尿器科領域における漢方診療の過去・現在・未来」

日高病院泌尿器科 福岡裕二

【JAPANESE SESSION 「伝統医学」】

座長 千葉大学大学院医学研究院和漢診療学

並木隆雄

●「日本医学の歴史」

東邦大学医学部大森医療センター 松岡尚則

●「漢方医学における腹証の標準化に向けて～腹診シュミレータ腹部モデルの開発～」

日本大学医学部内科学系統合和漢医薬学分野

矢久保修嗣

●「日本における鍼灸実践と研究の文化的側面」

東京有明医療大学

東郷俊宏



日本漢方協会通信 - 2

藤平健先生生誕百年記念会

中村成代 記

昭和漢方の発展に多大なる業績を残した藤平健先生は 1914 年 9 月 10 日香川県丸亀市に生を受け今年で 100 年にあたる。有志により「生誕百周年記念会」が開催され、先生の業績と人柄を偲ぶ門人 120 名が一同に集まった。

(月日) 平成 26 年 11 月 9 日(日)

(会場) ホテルグランドパレス

(発起人) 会長 鍋谷欣市 副会長 寺澤捷年・高木嘉子 他

(内容) AM11～ 記念講演会「藤平先生の教えを臨床に活かす」

司会 もり内科クリニック 盛 克己

「薯蕷丸の発見」 東京女子医科大学 東洋医学研究所 伊藤 隆

薯蕷丸は、『金匱要略』の処方で、薯蕷(山薬/山芋)を主薬とした 21 味の生薬を蜂蜜で丸剤にしたもので 1 丸を 2.6g に作る。処方内容は十全大補湯に更に生薬を加えたような構成になっている。全身状態が悪く食欲低下があり通常の治療では回復困難と思われる患者に投与すると食欲が改善する。

(投与後食欲改善例) 癌など悪性疾患 18 / 28 (64%)

非悪性疾患 32 / 43 (74%)

服用後 2 日間で速やかに食欲回復を認め、ターミナルケアの場で用いるべき薬と考える。(薯蕷丸を服用出来ない患者は 1～2 ヶ月で亡くなっている。)

「藤平健先生生誕百年併病の理論的展開とその契機」

千葉大学大学院和漢診療学・秋葉伝統医学クリニック 秋葉 哲生

藤平健先生が併病理論に至り発展させる過程を説明された。

- 1) 奥田謙蔵に入門(23 才)
- 2) 『陰陽錯雑虚実混淆の証について』の論文(42 才)
- 3) 「偶中」にも証があることの発見(46 才)
- 4) 奥田謙蔵の他界と尾台榕堂伝の執筆(47 才)
- 5) 古典の読み方を柔軟に(54 才)
- 6) 師節の止揚(59 才)
- 7) 併病理論を臨床に大きく展開(60 才)
- 8) 傷寒論の再確認(61 才)
- 9) 一守破離(66 才)
- 10) 鍵と鍵穴の公理(69 才)

「漢方開眼」 千葉中央メディカルセンター和漢診療科

寺澤 捷年

藤平健先生がどのように漢方の道に入っていたのか。今回の講演のために資料を調査していくうちに、とても短い時間での講演で話ができる内容ではないことが分かり、『漢方開眼』(医聖社)の出版に至った。

「千葉大学 1 年の夏、父の診療室に入ったところ、診察机に『漢方と漢薬』が 3 冊おいてあった。」からはじまる藤平先生と漢方との出会い。(軍医であった藤平健先生の尊父は千葉市内で開院されており、木村雄四郎と友好があった。)

木村雄四郎先生 鮎川静香先生 和田正系先生 奥田謙蔵先生 など

日本漢方協会通信-3

第1回 薬局製剤学会総会 議事報告

報告者 八木 多佳子

日時:平成26年10月13日(日)午後1時~午後3時30分

場所:山形県山形市宮町5丁目9-8 寿々菘総本店

出席者:三上正利会長 今井 淳副会長 安部真知子 内田文子 大塚信子 黒須由紀子 後藤郁子

高山留美 中嶋睦子 平野文子 八木多佳子

議 事:

1. 報告事項

(1) 会長挨拶 (三上会長) 調剤・医薬品の流通・医薬品の製造の3大職務の中の製剤に関わる薬局製剤の制度は日本独特のものと言われています。「薬剤師としての生き甲斐である」が、薬局製剤に携わる薬剤師へのアンケートではトップになっています。漢方薬に関しては、この制度がなければ現在の保険漢方が成立できなかったと思われます。薬局製剤は調剤業務に追われている業務の中で軽視されてきてしまっている制度ではありますが、高齢化社会、保険費用の削減の中で、要望が高まるであろうと推測されます。薬局製剤を確立・発展させなくてはなりません。一人一人の持っている技術を評価しながら、次の世代に引き渡すためにも頑張りたいと思っています。

(2) 結成主旨 (今井副会長) 昨年、漢方薬局製剤分科会を日本漢方協会の中に立ち上げました。この会をより発展させるために、学会として発足することにしました。薬局製剤は薬局の、薬剤師の重要な業務の一つでありながら、広く一般化されていません。そればかりか多くの大学で教育もされていないのが実情です。薬局製剤を学び、法に則りつつ自らの技能を生かし、病に悩む人を一人でも多く救えることができればこの上ない喜びと考えます。このために、薬局製剤を学び、研究し、互いに研鑽し合う場として薬局製剤学会を立ち上げます。多くの困難な道であると思いますが、みなで力を合わせて参りましょう。よろしくお願ひします。

2. 決議事項

(1) 名称は「漢方薬局製剤学会」とする。

(2) 会則案について、目的、事業、会員および賛助会員、会員資格、役員、役員を選出と任期、資産、総会、会計年度、会則の施行について、ほぼ原案通り承認された。但し会費は年間 ¥5,000とする。

(3) 会委員参加状況は、現在、日本漢方協会会員を中心に、大学の先生方にも加わっていただいております、会員数 25 名。

(4) その他 参加者会員の全員から、今後の会の希望など発言した。

3. その他

後日、会員から、本会の名称について「漢方」を外したい旨の希望が出され「薬局製剤学会」とすることにした。以上

~~~~~  
去る10月12、13日に山形市で開催されました「日本薬剤師会学術大会」での日本漢方協会会員発表の様子です。



八木さん発表

高山さん発表



薬局製剤学会第1回総会 山形市寿々菘本店にて



発表会場